



きらり☆東舞

2018年10月号

平成30年10月発行 No.76
 発行責任者 京都府立東舞鶴高等学校
<http://www.kyoto-be.ne.jp/higashimaizuru-hs/>
 舞鶴市字泉源寺 766 番地 Tel 0773-62-5510

みなさんこんにちは。僕は「きらりん」。東高生から生まれたキャラクターとして、東高の魅力をお伝えしています！
 「きらり☆東舞」は東舞鶴高校の広報紙です。学校行事や部活動できらり☆と輝く生徒たちを紹介します。



平成30年度 東高 学校祭

Don't forget ~見せる平成最後の闘舞魂~

残念ながら体育祭は雨天のため実施できませんでしたが、文化祭は大成功！生徒たちにとってかけがえのない青春の思い出となりました。

ステージ発表



ウィンドアンサンブル部「東舞ミュージックステーションⅢ【楽しさ倍増！フル部祭り】」 書道部「書道パフォーマンス」



3年1組「ルパン三世 トウマイの謎」 3年2組「心が叫びたがってるんだ。」 3年3組「もののけ姫」 3年4組「CATS」 3年5組「ロミオとジュリエット」



2年1組「響一心をひとつにー」 2年2組「STOMPで『奏』でる」 2年3組「2年3組とゆかいな仲間達」 2年4組「平成最後の Under the sea」 2年5組「#幸せとは」

展示発表



1年1組「モンサンミシェル」 1年2組「Colorful city」 1年3組「パリの世界遺産」 1年4組「グレートバリアリーフ」



書道部

美術部

SF部

華道部

茶道部

写真部

科学部

放送メディア部

ESS部

図書委員会

今月のきらり☆さん

3年3組「もののけ姫」で堂々と演技を披露した2人が、見事表彰されました。おめでとうございます！

優秀演技賞
サン役
 3年3組
田代愛佳さん



最優秀演技賞
アシタカ役
 3年3組
船本凌くん

「迫力あるアクションシーンをお見せすることが一番大変でした。」
 「演技には自信がありました。役作りのコツはとにかく作品を好きになること！」
「もののけ姫」お気に入りのセリフを教えてください！
 「アシタカは好きだ。でも「我が名はアシタカ！」人間を許すことはできない。」

夏の体験セミナー

中学生夏の体験セミナー 中学生夏の部活動体験ウィーク 保護者説明会

8月に実施した「夏の体験セミナー」では、学校説明や授業体験、施設見学を行いました。また部活動体験もたくさんの参加があり、中学生の皆さんに東高の魅力をたっぷり体験してもらいました。



I AM HOT! TOHMAI CLUB

運動部・文化部ともに充実した施設環境で、生徒たちは部活に励んでいます。「I AM HOT!」な部活動が自慢の東舞（TOHMAI）。そんな部活に打ち込む生徒たちの様子をお伝えします。

ソフトテニス部



月～土曜日、テニスコートで、男子8名、女子5名で活動しています。現在は府下大会出場を目指して頑張っています！

水泳部



屋上野外プールで練習に励んでいます。部員は2年生3名。9月末の新人戦に向けて自己ベストを出せるよう頑張っています。

進路TOPICS ~Change! Charge! Challenge!~

夏休み期間中も、さまざまな進路行事を実施しました。



←卒業生による看護学校進路講演会
 舞鶴医療センター附属看護学校に進学した卒業生による講演会を行いました。

▶就職模擬面接(3年生)
 @舞鶴市商工観光センター
 舞鶴東ロータリークラブの皆様にご協力いただき、模擬面接指導を行いました。



←大学見学会(1年生)
 1年生を対象に大学見学会を実施し、希望者39名が京都産業大学と佛教大学を訪れました。



ツッキーの進路コラム

やあ。僕はツッキー。キミの進路を月の光で輝かせるよ。進路の悩みや不安は、ツッキーにまかせて！



苦手な教科の克服ってどうすればいいですか？

教科の苦手は**お化けが怖い**と似ています。夜に窓の外から物音がして怖い。でも勇気を出して確認したら猫だった…。「苦手」の原因は、「**苦手な正体**」がわからない所にあります。だから、「**苦手な正体**」を知ることがまずは大事です。たとえば…

「なぜ数学が苦手なのだろう？」
 →「方程式の文章問題ができないから。」
 「なぜ方程式の文章問題ができないのだろう？」
 →「何を書けば良いかわからないから。」
 「なぜ何を書けば良いかわからないのだろう？」
 →「求めたいものが何かかわからないから。」

こうすれば、「求めたいものが何か」がわかっていなかったと理解でき、苦手克服に1歩近づきます。苦手とは裏を返せば、知らなかったことを知るチャンスです。

大事なことは、「**逃げずに向きあう**」ことです。これさえできれば、苦手を好きにしちゃう自分がそこにいますよ。